

市内の各小中学校で行われているさまざまな取り組みをピックアップしてご紹介します。

☎ 学校教育課 ☎0968(25)7231

## 菊池南中学校

### 公開授業で生徒自ら発表



④地域活動委員会の生徒は「探究的な学びの実践」をプレゼンテーション形式で発表  
⑤ICT機器を活用した1年生の数学科の授業

本校は「熊本の学び」プロジェクト校に指定されています。公開授業には170人を超える教育関係者が来校。生徒たちは自ら取り組んでいる活動を発表し、授業以外でも活躍しました。「学びに向かう姿勢に感心した」「生徒たちが堂々と発表していて素晴らしい」など、多くの言葉が聞かれました。

## 旭志中学校

### 元気な骨を作ろう! 「骨こつ教室」



④管理栄養士から成長期の骨について話を聞きました  
⑤野菜たっぷりのメニューをみんなで調理  
協力いただいた皆さん、ありがとうございました

市健康推進課から管理栄養士を招き、1年生を対象とした「骨こつ教室」を実施しました。骨粗しょう症予防について話を聞いた後は、地域で活躍しているヘルスメイトの皆さんの指導の下、大根菜ごはんや貝だくさん豚汁などを調理。栄養バランスの整った料理をみんなでおいしくいただきました。

## 菊池北小学校

### 持続可能な未来をみんなで考える

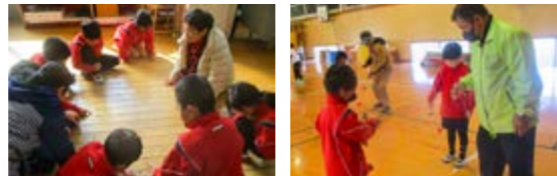


⑥6年生約40人がSDGsにつながる活動を発表  
⑦地域に伝わる文化の伝承として取り組んでいる狂言や小舞を披露(関連10頁)

「2025SDGsフェスティバルinきくち」に6年生が参加し、北小版SDGsを発表しました。節水・節電の取り組みや外国語活動の様子を紹介。28年前から続く北小伝統の「狂言」も披露しました。環境、異文化理解、伝統文化など、さまざまな視点でのSDGsの取り組みを未来のためにも続けていきたいです。

## 菊之池小学校

### 地域の皆さんと一緒に昔遊び!



⑧おはじきに挑戦。「指で弾くのって楽しいね!」  
⑨けん玉。「一緒にやってみよう」と優しく教えてもらいました

1年生が地域の皆さんから、けん玉やこま、お手玉、おはじきなどの昔遊びを教えてもらいました。児童たちは、一緒に遊びながら「もう一回やってみよう!」「やった!できたよ!」とみんな笑顔いっぱい。遊びを通して、地域の皆さんとふれあいながら、思いやりの心や挑戦する気持ちが膨らんでいったようです。

## 隈府小学校

### 昔遊びでみんな大盛り上がり!



⑩投げるのが難しいめんこも、練習すると気持ちの良い音が鳴っていました  
⑪こまの紐の結び方から丁寧に教えてもらいました

1年生の生活科の時間に、約20人の地域や保護者の皆さんに協力してもらい、昔遊びを行いました。めんこやこま、あやとり、お手玉など、10種類の遊びを体験。児童の歓声が響き、祭りのようににぎやかでした。初めて体験する遊びがほとんどでしたが、体を動かす楽しさを実感し、貴重な体験となりました。

市内3高校の魅力伝えます!

## 高校魅力化全力通信

vol.97



【問い合わせ先】  
菊池高校  
☎0968(25)3175



2月7日、花畑広場(熊本市)で開催された「第5回くまもとジビエ甲子園」に、本校のまちづくり部を中心とした生徒7人が初出場しました。本大会は、近年問題となっている鳥獣被害への理解を深め、ジビエの活用を進めることを目的に、県内各高校が連携して行われるイベントです。  
生徒たちは、菊池の特産である菊芋や水田ごぼうをふんだんに使用した「猪肉のおひめさまだご汁」と、ト

地域食材で挑戦!  
ジビエ甲子園に初出場



マトの酸味とワインの香りが特徴の「鹿肉とトマトの洋風煮込み」の2品で勝負。大会に向けて何度も試作を重ね、味付けや食べやすさ、見た目にも工夫を凝らしてきました。  
来場者からは「本当においしかった」「体が温まった」といった声が多く寄せられ、生徒たちは大きな達成感を得ました。  
結果は5位となりましたが、地域食材の魅力発信し、熊本市中心部という大きな舞台で挑戦できたことは、かけがえのない経験となりました。本校では、こうした実践的な活動を通して、生徒が地域と関わりながら学べる環境づくりを進めています。

当日は寒波が流れ込む厳しい寒さでしたが、調理班は各150食を休む間もなく作り続け、販売促進班は声を張り上げながら懸命に呼び込みを行いました

### 最先端技術でSDGs体感

2月7日、中央公民館で開催された「2025SDGsフェスティバルinきくち」に、生徒4人が参加しました。本校は、DXハイスクールの取り組みの紹介として、体験を通して学べるブースを出展。多くの来場者が楽しんでいました。  
VR体験では、ゴーグル6台を用

2月14日、県立装飾古墳館で開催された「第6回菊池川流域高校生サミット」に、地域探究コース福祉班2年生の2人が参加しました。  
「菊池市の子育て支援に貢献したい」をテーマに、144人の保護者アンケートを分析し、支援策は充実している一方で、情報が十分に届いていない現状と、その改善策を提案。発表後には観覧者から「面白い着眼点」との声が寄せられ、高校生同士の相互投票と審査員投票により「まちづくり探究賞」を受賞しました。

市の子育て支援を考える  
高校生が挑んだ地域探究



⑫宇宙エレベーターの操作体験では、小さな子どもでも楽しめるよう工夫。自動で動く玉入れ遊びのような仕組みにすることで、夢のある宇宙開発の世界を身近に感じてもらいました  
⑬VRのブースではゴーグルを着用し、サパンナにいるかのような臨場感を体験

意し、草原の中でゾウやキリン、ライオン、ラクダなどを間近で見ることが出来る仮想空間を制作。また、LEGO®の恐竜型ロボットやトレーシングカーにも自由に触れてもらい、プログラミングやロボット技術を体感してもらいました。  
当日は、生徒たちが接客を担当。外れた部品の修繕や機材の充電などに奔走しつつも、来場者一人一人に丁寧に対応しながら、技術の楽しさと学びの意義を伝えました。  
今回の参加を通して、生徒たちは地域と関わりながら、持続可能な社会を考える貴重な機会を得ることができました。(関連10頁)